

### かしま 神島って？

神島はどこにあるか？どんな島か？など紹介します。



和歌山県



田辺湾

新庄第二小学校

### 神島はどこにある？

神島の住所は、新庄市新庄町9972番地。田辺湾にある無人島です。島の周囲にある島の高平均からは、約300メートル。新庄第二小学校からは、約1.6kmの場所にあります。内之浦漁港から船で約10分で渡れます。



### 神島はどんな島？

神島は、2つの島にわかれています。小さい島が「こやま」、大きい島が「おやま」です。2つの島は、干潮時に歩いて渡ることができます。広さは、約2haです。





おやまには、神様（神島大明神）をまつる祠があります。（左の写真）  
神島は南方熊楠によって守られ、国の天然記念物に登録されました。許可なく上陸することはできません。

田辺市立新庄第二小学校  
6年生

地域の魅力  
再発見！

## 南方熊楠が守った島

# 神島



～守る 受け継ぐ 語り継ぐ～  
地域の宝


### 神島を守った南方熊楠

熊楠と神島とはとても深い関係があります。熊楠は、何度も神島に足を運んで、木の1本1本にまで調べつくしました。熊楠がどうやって神島を守ったのか、なぜ国の天然記念物に申請したのか紹介します。

### どうやって神島を守ったのか？

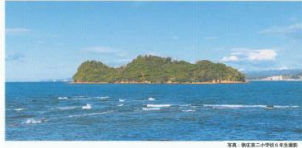
明治時代、神社令が出され、小さな神社は近くの神社と合併するよう国から命令が出されました。神島の神社も合併が迫られてしまい、このままでは、神島の神はもうらら、日本各地の神社の森がなくなってしまう。そう考えた熊楠は、神島の森や神社を守るために、森の木を切ることに反対意見を新聞に載せたり、和歌山県知事や県庁の長官の人々にたくさん手紙を送りました。その結果、神島の森や神社が守られました。

その後、南方熊楠らの働きによって神島は「国の天然記念物」になりました。



### 国の天然記念物になった理由

なぜ熊楠は国の天然記念物にしたかったのでしょうか？



下の文章は、熊楠が神島を国の天然記念物に申請したときのものです。

この島（神島）の草木を天然記念物に申請したのも、この島に在る特殊の植物が主であることにある。南方熊楠の植物は、いまや田辺の島度で多く生え、また全島に及びおる。しかも、この島には一帯田辺湾地方の植物を保存しおるから、後日までも保存し続け、むかしこの島の名の植物は天然記念物であったと知らせたいからである。 『新庄町の合併について』 幸富新聞 昭和11年8月25日  
引用：南方熊楠顕彰会伊

分かりますか？

「神島の草木を天然記念物に申請したのは、神島に珍しい草や木があったからではない。田辺湾周辺の植物は、台風などの影響によって多くは全滅、又は全滅に近づいている。神島には、田辺湾周辺に元々生えていた植物があるから、長い間保存し続けて、昔、この島の植物はこんなものが生えていたと知らせたいから天然記念物に申請したのである。」つまり、神島は、珍しい草や木があるから国の天然記念物になったのではなく、人の手が入っていない田辺湾周辺の本来の自然を残していくために天然記念物になったのです。

### 神島を特徴づける植物

#### 神島を守るハカマカズラ

神島には、ハカマカズラのツルが張り回らされており、そのつるが神島を土砂崩れから防ぐ働きをしています。ハカマカズラの葉はハート型。花は、7月～8月いっぱい咲き、藤の花のように美しく咲きほこります。種は、熊野詣の数珠として使われました。



#### 樹皮がはがれるバクチノキ

バクチノキという名前の由来は、「熊楠の木」です。昔くからの言い伝えによると、この木の樹皮は枯木から採取し、成長するにつれて樹皮ははがれ落ち、次第に赤褐色になります。この樹皮ははがれて色が赤くなることから、「やがて赤くなる＝熊楠」と連想して、バクチノキと呼ばれたことがあります。板に白い花が咲く。樹皮がうろこ状にはがれたように見えることから「バクチに負けて熊がはがれるさま」に例えられました。



#### 熊楠が死の直前に見たセンダン

南方熊楠が死の直前に「天竺に赤の花が咲いている。」と言ったのは、神島で見たセンダンの花だとされています。タイワンセンダンとも呼ばれる暖地性の常緑樹で、葉はラワンノネの葉のように輝いています。センダンの樹そのものが、花をつけるまで成長すると木丈となっているから、樹上の高いところで花を咲かせます。



#### 林床に密生するキノクニスゲ

キノクニスゲ(キノクニスゲ)はスゲ科で、森林の下に生える大型のスゲで丈が1メートルほどになり、林床に密生します。神島では、「おやま」に多く、林床を占有している植物があります。明治時代の神社令で、わざわざ本島に運りました。1～2月に白い花をつけます。



パンフレットの1部分を掲載しています。